



どんな「人」に
なりたいか、を
考えさせよう

塩見小学校 校長
東村 真一

「プロサッカー選手」「パティシエ」
「看護師」：子ども達に「将来の
夢」を問うと、ほとんどが「職業」

を答えます。もちろん素晴らしい目
標です。しかしながら、私はこうい
った直線的な子ども達の思考に少
し寂しさを感じます。

教育の目的である「人格の完成を
目指し社会の形成者として育成す
ること」に鑑み、職業選択がゴール
ではなく「どんな大人になつて、ど
う生きていくのか」が人のゴールな
だということ、先ず子ども達に
しっかりと理解させるキャリア教育
指導でありたいものです。「みんなの
役に立つ人になりたいなあ。自分の
することみんなが喜んでくれるよ
うな、そんな仕事を見つけたいなあ」
：冒頭の問いに対してこのような答
え方のできる小学生を、キャリア教
育支援センターのお力を借りながら
育成したいと考えています。



「キャリア教育は
死ぬまで続く」

日向中学校 校長
日高 俊一郎

キャリア教育はよく「生き方教
育」と言われます。決して、進学
指導や進路指導、職業指導ではあ
りません。これらは手段であつて

目的ではないのです。キャリア教
育の目的は、キャリア発達を促す
ことです。では、キャリア発達は
何かと言うと「社会の中で自分の
役割を果たしながら、自分らしい
生き方を実現していく過程」です。
自分らしい生き方をするための手
立てとして、「学ぶこと」や「働く
こと」があるのだと思います。私
も定年まで後5年、この仕事を退
いた後も「社会にどう関わって行
こうか」「どうやって私らしい生き
方をしようか」と悩んでいます。
人は社会的に動物だと言われま
す。社会に関わるからこそ個々の
「良さ」や「らしさ」が顕在化す
るのだと思います。キャリア教育
にゴールはありません。まさに
「キャリア教育は死ぬまで続く」
です。



学校を核にした
地域づくり

日向市キャリア教育支援センター長
水永 正憲

社会にはたくさん職業があり
ます。そして、世の中では様々な大
人たちが、実にいろいろな仕事をし

ています。そんな様々な働く大人、
今はもう第一線を退いた大人が、
語ってくれる「働く喜びと苦労」の
物語を聞いて、子供たちはきっと自
信を持ってくれるに違いないと思
います。そして、それ以上に大切なこ
とは、地域の大人たちが学校に出
向いて行くことで、大人たち同士
関わり合いが生まれてくるに違
いないということです。

地域のすべての人々が、「学校」に
気軽に集い合い、子供たちと関わ
たり、先生方と触れ合ったり、地域の
大人同士で語り合ったりできるよ
うなることを夢見ています。

「学校」を核にして、地域の人々が
交じり合い、「自分とは違う隣人の抱
える問題をお互いに思いやる」よ
うな地域こそが、今もつとも求めら
れていると思うからです。



失敗したっていいんだよ

ひゅうがりサイクルセンター
川崎 修

「失敗はたくさんしたほうが良
い！失敗はなにか行動をしたから
失敗するのであつて、なにも行動
しなければ、失敗も成功もない！

いちばんいけないのは行動しない
ことだよ」

私がある中学校でサラッとと言
つた一言です。本当は別のメッセ
ージが伝わってほしかったのです
が、後のアンケートで子供たちに
最も受け入れられたメッセージで
した。失敗すると怒られる…。そ
んな思いが子供たちを支配して
いると感じました。100%の完璧
な人なんてどこにもいません。プ
ロ野球だって3割打者強打者で
しょ？7割は失敗しているんで
す。もちろん100%を目指して
努力します…。失敗したっていい
んだよ。

失敗しても、前向きに頑張れる
そんな子供たちの成長を期待して
います。

第10回 よのなか先生研修会のおしらせ

- 日時 2016年2月15日(月) 18時00分～19時00分
終了後「懇親会」を行う予定です。
- 会場 日向商工会議所 1F多目的ホール

- 内容
よのなか先生の事例発表 ならびに 意見交換
- 山本 恵子さん(栄興自動車販売(有))
- 税田 和久さん(グローバル・クリーン(株))





東郷学園

小学部、中学部とも「よのなか教室」がおおいに活用され、地域の高齢者との体験交流、市の社会福祉協議会の福祉授業も充実している。

○よのなか教室

・学級活動「自分のよさを生かして」



平成26年
11月13日(木)
(5年生20名)
尚ヤッシュ
河野 巨さん
今の仕事について話を聞く。

・道徳の時間「さっちゃん、世界に行く!!」



(1回目) 平成26年11月20日(木)
(2回目) 平成26年11月27日(木)
(5年生20名)

サンシャインアカデミー
藤江 幸子さん 「自分らしさ」(1回目)、「ケニアでの暮らし」の話



・社会科「生産と労働」との関連学習



平成27年
3月10日(火)
(9年生)
黒田工業
ひゅうがリサイクルセンター
川崎 修さん
大切なのは「できる」か
「できないか」ではなくて
「やるか」「やらないか」です。

・総合的な学習の時間「つながり発見Ⅰ」



平成27年
6月25日(木)(7・8年生)
旭建設株式会社
柳田 圭介さん・林 祐樹さん
・どうして今の仕事を選んだのか。
・仕事をして良かったこと-などの話を聞く。

・「つながり発見Ⅱ」

平成27年
6月25日(木)(8年生)

宝夢塗装
黒木 満彦さん

・どうして今の仕事を選んだのか。
・塗装にチャレンジ



幸協小学校

全校児童が団員であるみどりの少年団活動として、1年間日向市林業研究グループ連絡協議会のみなさんと、森林についての学習や、体験活動を行ってきました。この1年を通して森林の大切さを感じ、林業という職業について知ることができました。

・みどりの少年団入団式

5月27日(水)(全校生15名)
入団式で森林についての講話を聞きました。
森林が果たす役割について知り、森への感謝の心が芽生えました。



・林業体験学習

9月16日(水)
学校で、実際に木の伐採の体験をしました。木が倒れると、子どもたちから歓声が上がりました。



・森の宝物づくり

12月11日(金)
「木のスプーン作り」を覚えてもらい、親子で制作しました。
世界に一つだけの、マイスプーンが完成しました。
6年生の児童は、実際に重機に乗るドキドキ体験もしました。



・日章学園調理科生と調理実習

9月11日(金)(5・6年生4名)
「幸協の幸」を使った調理に挑戦しました。
子供たちは高校生の指導を受けながら真剣そのもの。

